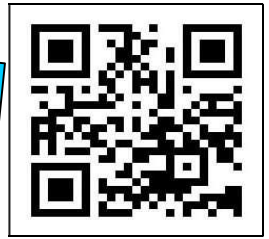




鹿兒島県護憲平和 フォーラム情報



沖縄集会・ブロック事務局長会議報告 (特集号)

NO—156 2023.12.4

発行：鹿兒島県護憲平和フォーラム Email:kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp
連絡先：鹿兒島市鴨池新町 5-7 TEL 099-252-8585 FAX099-258-4560

「沖縄を二度と戦場にしない 11.23 県民平和大会」参加と

各ブロック事務局長・沖縄現地視察 報告

「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」は、岸田政権の「台湾(半導体)有事」を念頭にした軍備増強に反対する大規模集会「全国連帯！沖縄から発信しよう！11.23 県民平和大会」を 23 日、那覇市奥武山(おおのやま)公園で開催しました。沖縄からの呼びかけに県フォーラムは、各ブロックの事務局長に依頼し、鹿兒島(前田 秀一)北薩(早崎当和)南薩(今辻 銀二)始良伊佐(小平 新一)大隅(下柳田 和弘)熊毛(下村 英之)奄美(関 誠之)県フォーラム(磨島 昭広)が、参加してきました。

参加者約 1 万人を前に、来賓あいさつで玉城デニー知事は「観光を含めた経済を回していくためにも平和でなければ、達成できません」また、今のウクライナやパレスチナ自治区ガザの状況に触れ「歴史の歩みを振り返れば、必ずどこかで拳を収め、怒りを鎮めるタイミングがあるはず。その時に不条理を、ただしていかなければならない」と訴えました。

集会では自衛隊配備の強化が進む与那国島の狩野 史江さん(与那国島の明るい未来を願うイソバの会)石垣島の内原 英聡さん(石垣市議)宮古島の福里 猛さん(宮古島平和ネットワーク)うるま市の照屋 寛之さん(ミサイル配備から命を守るうるま市民の会)沖縄市の島袋 恵祐さん(自衛隊弾薬庫等建設に反対する沖縄市民の会)名護市の浦島 悦子さん(へり基地反対協議会)奄美の関 誠之さん(前奄美市議)が、それぞれが地元の状況を報告し、現状を共有しました。その中で、関さんは「2019 年に奄美駐屯地と瀬戸内分屯地が開設され、開いた途端にミサイル部隊が配備されました。岸田政権は、防衛費を 43 兆円も増大させ、日本を「戦争ができる国」にしようとしています。奄美・



徳之島では毎年のように「日米軍事訓練」が繰り返されていますが、これは南西諸島を捨て石にしてアメリカ本土を守るというのが、真実ではないでしょうか。国会議員には『戦争はしない・させない・国を守る前に国民の命を守れ』と言いたい。全国の仲間と連帯して、頑張りましょう」と力強く訴えました。

集会宣言(案)採択では、安保関連3文書を閣議決定した政府が自衛隊基地を相次いで建設し、最



大規模の日米軍事演習を行うことで戦前を彷彿させる光景が広がり、かつてない軍事的緊張が南西諸島の島々を覆っていると、批判し「戦争への道を暴走する岸田政権の動きを止めるために、思想信条を超え老若男女が手を取り合って団結し、全国の、そして全世界の仲間と団結して戦争を止めよう」との案が読み上げられ、全員の拍手で採択されました。



集会終了後に視察団は、車で名護市へ。移動中の車内で、自己紹介と各ブロックのとりくみ報告を行った後、磨島県フォーラム事務局長が「沖縄の現状を視て・聞いて、今後の各ブロックのとりくみに反映させる」今回の視察の意義を説明し、11月20日(月)に開かれた「2023年第1回財政検



討委員会(委員長・自治労/階元)からの提言を伝え、来年の定期総会までに協議をしていく事を報告しました。内容は① 毎年、組合員が削減していく状況での県フォーラムの財政の在り方、② 各ブロックの財政状況と交付金の在り方、③ 各ブロックの今後の役員人事の在り方や会員拡大などについて、意見を交わしました。この意見を基に、今後の財政検討委員会で協議し、答申としてまとめていきます。

二日目は早朝から、辺野古新基地建設の大浦湾側を埋めるために船で土砂搬出が行われている本部港を視察しました。沖合に停泊し、順番を待つ大型運搬船 18 隻に圧倒されました。しかし、ダンプ搬入口で、ひとりの反対派男性が「桃太郎旗を掲げ、歩道を往復し、牛歩戦術で阻止行動を行っている姿に」心を打たれました。

その後、辺野古の現場を大浦湾奥の反対側から視察したあと米軍弾薬庫増設現場を、そして米軍キャンプシュアブ前座り込み現場を回りました。反対派テント前で鹿児島からの激励のあいさつを行い、広大な嘉手納基地と普天間基地に(右記写真は、沖縄国際大学の前泊教授の配慮で、校内第5号館6階から撮影)駐機している大型輸送ヘリコプターCH-53D やオスプレイをまじかに見たことで、2004年8月13日に大学近くに墜落(写真下)した輸送機だと思いと、ゾットする恐怖を覚えました。最後に、沖縄南部戦跡「ひめゆりの塔」を



視察して、全日程を終了しました。最終日の25日は、航空チケットの関係で、早朝の便しか確保できず、寒い時間帯の帰鹿となりました。

ハードスケジュールの視察に参加していただいた、各ブロックの事務局長の皆さんに、感謝いたします。今回の視察が、各ブロックの今後のとりくみの「一助」になれば幸いです。